



2022年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社 村上開明堂
代 表 者 名 代表取締役社長 村上 太郎
(コード番号 7292 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常務取締役経営企画本部所管
長谷川 猛
(TEL 054-253-1811)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表した2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,000	百万円 2,300	百万円 2,700	百万円 1,600	円 銭 127.96
今回発表予想(B)	41,000	1,800	2,300	2,200	177.58
増減額(B-A)	△1,000	△500	△400	600	49.62
増 減 率 (%)	△2.4	△21.7	△14.8	37.5	38.8
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	35,937	2,615	2,992	1,972	156.32

(2) 通期連結累計期間の業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 87,000	百万円 6,000	百万円 6,800	百万円 4,300	円 銭 343.90
今回発表予想(B)	86,000	5,000	5,900	4,600	371.30
増減額(B-A)	△1,000	△1,000	△900	300	27.4
増 減 率 (%)	△1.1	△16.7	△13.2	7.0	8.0
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	73,595	4,864	5,723	3,865	309.16

2. 業績予想の修正理由

2023年3月期第1四半期は、部品供給不足や上海ロックダウンによる自動車の減産調整の影響を受けて生産量が計画を大きく下回り、これに伴う労務費等の固定費負担の増加、加えて原材料費や物流費の高騰等により、売上高および各利益が期初予想を下回る結果となりました。第2四半期以降も事業環境は不透明感が強く、当第1四半期の業績結果と現時点での見通しを踏まえ、第2四半期累計期間および通期の業績予想を修正いたしました。為替レート的前提は1米ドル=125円として予想値に反映しております。

なお、第2四半期累計期間および通期の業績予想修正における親会社に帰属する当期純利益につきましては、当第1四半期に特別利益(921百万円)の計上があったため期初予想に対して増益の予想となっております。これは2021年8月31日付にて公表いたしました「株式会社ミツバの有する株式会社大嶋電機製作所株式の取得(子会社化)及び関連事業の譲受けに関するお知らせ」のとおり、2022年4月1日に株式会社ミツバより株式会社大嶋電機製作所の株式84.2%を取得し連結子会社化したこと、および株式会社ミツバの有する関連事業を譲り受けたことに伴い、負ののれん発生益が生じたものです。

※ 2022年4月1日公表のとおり、株式会社大嶋電機製作所は、子会社化完了後、株式会社村上開明堂東日本に商号変更いたしました。

(注) 上記の通期の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上